

大型商業施設のオープンを見据えた地域づくりの取組状況 参考資料

1 大規模商業施設（イケア・イオン）の店に向けた状況

	イオンモール長久手	イケア長久手	
施設	開業時期	平成 28 年 12 月予定	平成 29 年 10 月予定
	立地場所	リニモ「長久手古戦場駅」前	リニモ「公園西駅」前
	敷地面積	45,588.79 m ²	48,128.61 m ²
	店舗面積	36,700 m ² (イオンリテール 15,494 m ²) (専門店 21,206 m ²)	20,000 m ²
	その他施設面積	飲食等 5,684 m ² サービス、アミューズ等 2,940 m ² シネマ 4,134 m ²	飲食等 1,736 m ²
交通	駐車台数	全体 2,191 台のうち、 イオン分 1,969 台 (立地法必要台数 1,997 台)	1,412 台 (立地法必要台数 862 台)
	駐輪台数	1,049 台	70 台(自動二輪用 30 台は別途確保)
	駐車場の出入口	出口 7 カ所 入口 5 カ所 出入口 1 カ所	出入口 3 カ所
	発券ブースの有無	有	有

2 大型商業施設のオープンを見据えた取組状況

- ①リニモ駅と商業施設間の利便性の高い動線の確保
 - ・長久手古戦場駅とイオンモールを結ぶベデストリアンデッキの設置と駅舎の改修
 - ・イケア予定地直近で力石名古屋線を南北につなぐ横断歩道橋の設置と歩道橋から公園西駅へ直結する駅改札口の新設
- ②安全・円滑な自動車交通の推進
 - ・愛・地球博記念公園の北側のパーク＆ライド駐車場の拡張
 - ・交差点の改良事業
- ③リニモ利用の促進
 - ・リニモ利用来店客に対するインセンティブの付与
- ④大学連携による活性化
 - ・商業施設オープンに合わせたイベントの実施

3 リニモ沿線地域づくり重点プラン 2016-2020 の推進

【リニモ沿線地域の特性】

- ・充実した広域的な交通ネットワーク
- ・大都市近郊の豊かな自然環境
- ・愛・地球博を継承する施設群と活動
- ・大学や研究機関の高密度な集積
- ・名古屋市東部から延びる文化・居住エリア



新たな大型商業施設の
オープン

- ・重点プランは、市街地整備の推進はもとより、広域的な観光等に着目した「交流人口」の増加に資する取組に軸足を置き取りまとめているが、新たな大型商業施設のオープンは、15 の重点施策の内、次の施策の推進につながるものと期待される。

【重点施策】◇沿線住民や沿線大学・学生と協働した地域づくり

- ◇地域資源の活用による魅力向上
- ◇広域連携による観光の推進
- ◇沿線情報の一体的な発信

<参考> 国の交付金を活用したリニモ沿線地域のにぎわい創出の実施

愛知県では、国の地方創生推進交付金を活用し、リニモ沿線地域ならではの地域資源を活用した観光地域づくりに取り組むことにより、沿線地域の交流人口の拡大による地域の活性化を図る。

取組① リニモそのものを観光資源として捉え、リニモや沿線地域における観光施設、イベント等を活用し、広域観光の推進を図るために、リニモ沿線外と連携した観光モデルルートの作成。

取組② より多くの方にリニモそのものの魅力を沿線地域の魅力について知ってもらうため、県内外で「リニモたん」や長久手古戦場の PR を実施。

